（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス　ポレポレ

公表日　令和 8年 11 月 11 日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		戸建ての2階建てなので、支援スペースについては十分確保出来ている。2階については部屋の扉をはずし、活動を行いやすくしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		児童指導員または保育士の資格のある3名の職員（正社員）全員が常勤で勤務している。令和8年4月より職員４名体制（管理者兼児発管を含む）で行っている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	指導訓練室ごとに用途を子どもたちに示している。階段に手すりやすべり止め、落下防止用ネットを設置している。	事業所が戸建ての賃貸なので、完全なバリアフリー化は不可能。階段など段差があるところに関してはスタッフがフォローに入っている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日、朝のミーティング後に職員全員で掃除分担を決め、事業所内（玄関を含む）を清掃、衛生管理に努めている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		宿題等学習に取り組むときに静かな空間が必要なこどもには別室に机と椅子を用意し、取り組ませている。必要に応じて２階を休養スペースとして使用可能にしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		○	月ごとの事業所の目標を掲示し、いつでも振り返れるようにしている。	職員の入れ替わりがあった為、徹底できていない部分があった。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年に1回の保護者向けアンケート調査を実施し、職員間で共有している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		1日3回の全員参加のミーティングを開き、職員が発言できる機会を設けている。また、経営者側との上下関係をなくし、職員が気軽に発言できる雰囲気作りに努めている。	職員との個人面談の機会を年間計画に組み込み設ける。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現状では実施予定なし。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		時間が許す限り、外部研修（自立支援協議会主催の研修など）に参加する機会を設けている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		職員全員参加の個別支援計画策定会議を開催し、検討している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員全員参加の個別支援計画策定会議を開催し、検討している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	○		職員全員参加の個別支援計画策定会議を開催し、検討している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		LINEにより写真付きで日々の活動報告を、詳細に保護者に伝え、尚且つ職員間で共有している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		職員全員参加の個別支援計画策定会議を開催し、検討している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		各担当者が立案したものを職員全員で検討し、決定している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		月ごとに活動プログラムを考えている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別のサポートが必要なこどもにはできる限り、個別に対応するようにしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		午前と午後の２回のミーティングで行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終業前には、必ず１日を振り返るミーティングを全職員の参加で行っている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		保護者にはLINEを使用し、その日の活動状況を報告し、事業所では支援記録によって記録を残している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		基本的には６か月に１度、モニタリングを実施し、次の６か月の個別支援計画書を作成している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	○		「学校との連携」を踏まえた支援は実行されている。また、遊びや活動は、こどもが主体的に参画できるように職員との関係性をフランクし、何でも話せる環境作りをしている。	今後は「地域交流の活動」と「体験活動」を取り入れることを考える。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		自由時間に何をするかについては、職員から与えるのではなく、こども自身に考えさせている。おもちゃ類（レゴブロックやカードゲームなど）は最低限のものしか置かず、遊びも自分で考えさせるようにしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者と法人の代表（保育士）が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		児童発達支援管理責任者と法人の代表（保育士）が窓口になって行う。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		行事予定や学校時刻については保護者からのLINE及び紙ベースで適宜情報共有している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		必要に応じて情報共有している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○	まだ該当する利用者はいないが、今後情報を提供する準備はある。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。		○		現状、連携は図れていない。助言や研修を受ける機会がない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		現状、実施は難しいと考えている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		広島市西区の自立支援協議会主催の研修にできるだけ参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎回、LINEで活動状況の詳細を写真入りで報告し共通理解を図っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		自事業所ではまだ行っていない。まずは職員がペアレントトレーニング等について学ぶ必要がある。外部の家族支援プログラムがあれば保護者に紹介していく。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者とはLINEで日々連絡をとれるようにしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	○		モニタリング表を提示した上で、個別支援計画書を提示している。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者からの悩みについてはレスポンスを早くするように心掛けている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		開催したいとは考えてはいるが、現状、保護者会の場所、時間等の関係で開催が難しい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情対応については契約時に保護者に説明している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月、次月の活動予定表をLINEで保護者に配信している。活動の様子についても適宜、InstagramとFacebookで配信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報については、持ち出し禁止や鍵付きロッカーへの保管の徹底など心掛けている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		LINEというツールを使用し、いつでも連絡がとれるようにしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	ご近所の方に日々挨拶をしたり、近くのコンビニで毎日買い物をしたり、こどものお昼ご飯を購入することで関係性を築くよう心掛けている。	地域との関わりが重要だと思っているが、地域住民を招待するなどの機会を設けることができていない。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルは備えている。定期的に訓練を行っている。	ご家族へのマニュアルに関する周知が不十分なので、周知する機会を設けること。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的に行うようにしている。	その都度、BCPの改定が必要である。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		現状、対象の利用者がいない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、毎月の事業所内の安全点検や定期的に避難訓練等を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	○		安全計画等の取り組みに関する内容について、利用者または保護者等が自由に閲覧できるように事業所内に設置している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		毎日行うミーティングにおいて、その都度事例について情報共有し、検討している。	